

web版

株式会社 **サン・フレイム**
Made in Japan
GUARANTEE & INSTRUCTIONS

⚠ 本革ベルトの特性について必ずお読み下さい。

ベルト部分に使用している本革素材は、材質の特性上、摩擦や水ぬれによって色落ちする場合があります。色落ちした場合や、汗、ゴミなどの汚れにより、衣類の袖口などを汚すこともありますので、十分に注意してご使用下さい。

修理の問い合わせ
時計サービスセンター
 TEL 03 - 3842 - 3844
 AM.10:00~12:00
 P.M. 1:00~ 5:00
 土・日・祝は休日

株式会社 **サン・フレイム**
 〒111-0041
 東京都台東区元浅草1丁目6番15号

—— **当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。** ——

ご使用に際し《保証規定》と《注意事項》を良くお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、必要になったときいつでもご覧になれるよう必ず保管してください。※万一、本製品使用により生じた、財産・権利・利益等に関して、当事者または第三者からのいかなる請求について、弊社では一切責任を負えませんので、予めご了承ください。※保証書に記載されたお客様の個人情報（氏名・住所）は、修理品の管理・配送などの修理業務目的のみに使用いたします。

《 保証規定 》

通常のご使用範囲内で時計本体（ムーブメント・ケース）において、自然故障した場合の保証期間は、お買い上げ日より1年間となります。※日本国内でのみ有効です。保証期間が過ぎた場合の修理代金は、修理内容によって料金が変わりますので当社時計サービスセンターにお問い合わせください。修理代金のお支払いは郵便定額小為替が普通為替およびお振り込みでお願いしております。

- 【保証対象外の内容について】**
- ①保証書が添付されていない場合。
 - ②保証書にお買い上げ年月日、販売店名の記入捺印または、それに代わる保証開始時期を証明するもの(販売証明書やお買い上げレシートなど)が無い場合。
 - ③電池交換 **【電池寿命と交換について】** の項目をご確認ください。
 - ④消耗・摩耗・汚損・破損・変色（メッキ・ペイントのはがれ）などしたケース・バンドの交換。
 - ⑤落下などの衝撃によるガラスの破損やキズ。
 - ⑥時計本体以外のパーツ紛失の取り付け。
 - ⑦時計内部に手が増えられていた場合。
 - ⑧非防水時計や性能範囲を超える状態での使用で内部に水が入っていた場合。
 - ⑨必要以上に酷使されていた場合。
 - ⑩その他当社の合理的判断に基づき有料と認められた場合。

【修理品の送付について】
 修理品を送付いただく際は、本体にキズが付かない様やわらかい布や紙などで保護し、当社時計サービスセンター宛に郵便にてお送りください。修理のために時計を送付される場合、送料はお客様のご負担（定型外郵便100gまで140円）になります。また、修理品を送る際には送付と同額の返信用の切手を同封してください。

【電池寿命と交換について】
 ※お買い上げいただきました時計は新しい正常な電池を組み込んだ後、規格寿命の期間作動いたします。お買い上げ時に組み込まれている電池は、機能や性能を確認できる様、工場生産時に新しい正常な電池を組み込んでおり、お買い上げいただくまでの期間も作動し続けているため、ある程度は電池が消耗しております。このため、お買い上げ後、規格寿命に満たない内に容量が切れることがありますのでご了承ください。なお、保証期間内であっても電池交換は有料となります。

※電池交換はお早めに行ってください。そのまま放置すると故障の原因となります。
 ※裏蓋をご自分で開けると故障の原因になります。電池交換はお近くの時計店又は当社時計サービスセンターで行うことをお勧めいたします。
 ※小型銀電池お取り扱い上の注意 本製品に使用されている小型銀電池を保管する際は、乳幼児の手の届かない安全な所へ置いてください。万一、飲み込んだような場合には直ちに病院や医師にご相談ください。

《 注意事項 》

- △【電池取り扱いの注意】**
- ◎誤飲の危険がありますので幼児の手の届かない所に置いてください。万一、飲み込んだような場合には直ちに病院や医師にご相談ください。
 - ◎電池寿命が切れた場合は当社時計サービスセンター又はお近くの時計販売店で電池交換を行ってください。
 - ◎電池は必ず指定電池をご使用ください。
 - ◎寿命の切れた電池を長期間入れたまま放置しますと、漏液により内部機械部品が損傷する場合がありますのでご注意ください。

- △【携帯時の注意】**
- ◎時計携帯時に乳幼児を抱くときなどは、あらかじめ時計をはずすなどしてけがや事故防止に充分ご注意ください。
 - ◎激しい運動・作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止に充分ご注意ください。
 - ◎高温の場所では本体の故障や、火傷の恐れがあるため絶対に使用しないでください。
 - ◎時計の着脱の際、バンドの留め具の構造によっては爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
 - ◎時計は常に清潔な状態でご使用ください。時計は携帯時直接肌に接しています。汚れたままご使用されますと、体質上皮膚の弱い方は、かゆみやかぶれが生じる場合があります。かぶれの原因として考えられるのは、金属、皮革アレルギーまたは、時計本体・バンドに発生したサビ、汚れ、汗などです。皮膚の弱い方は使用される前、予めご注意ください。異常を感じましたら、ただちに使用をやめて医師の診断を受けてください。
 - ◎製品の塗装やメッキは「こすれ」によっても「色落ち」します。又プラスチックの素材色も使用、保管の状況により「変色」します。汗やゴミなどの汚れにより衣類の袖口等を汚すこともありますので、十分に注意してご使用ください。

- △【使用環境/状況・保管の注意】**
- ◎分解しないでください。故障・ケガの原因となります。
 - ◎床面に落下するなど、強い衝撃は故障の原因になりますのでご注意ください。
 - ◎高温や低温など、極端に温度差のあるところでは機能が低下したり、停止したりすることがあります。また、常温（5℃～35℃）から外れた温度下で長時間放置しますと電池が漏液したり電池寿命が短くなったりすることがありますのでご注意ください。
 - ◎磁石・磁気類（携帯電話・磁気健康器具・バッグの留め金などその他）に近づけると故障や機能精度低下の原因となりますのでご注意ください。
 - ◎クォーツウォッチに内蔵されている部品は静電気に弱い性質です。強い静電電を受けると機能精度が低下する場合がありますのでご注意ください。
 - ◎化学薬品類などに近づけたり、ガスの中でのご使用は避けてください。水銀またはシンナー・アルコールなどの各種溶剤及びそれらを含むものが付着しますと、変色・溶解・ひび割れ・変質の恐れがあります。
 - ◎長期間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などをよくふき取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。また、寿命の切れた電池を長期間入れたまま放置しますと、漏液により内部機械部品が損傷する場合がありますのでご注意ください。
 - ◎お買い上げ時にガラス・裏蓋・バンド・金具などに保護シールが付いていることがありますので、必ずはがしてお使いください。保護シールが貼られたままご使用になりますと保護シールの裏やすき間に汚れが固着してサビが発生する場合があります。

- △【時計のお手入れ方法】**
- ◎ケース・風防の汚れや汗などは柔らかい布で拭き取ってください。
 - ◎バンドは乾いた布で汚れを取ってください。
 - ◎プラスチックやゴムバンドは湿った布で汚れを取ってください。（洗剤やアルコールなどは変色・変質の恐れがありますのでご使用しないでください。）
 - ◎海水や潮風は特に、塩分がサビ、腐食の原因となりますので、なるべく真水でよく塩分を洗い落とし、水気を拭き取ってください。（温水の場合は防水用部品”リング”などの傷みを早める恐れがありますのでご注意ください。）

取扱説明書

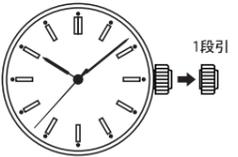
- ★ ご使用上の注意事項**
- 1: 衝撃：軽スポーツによる影響はありません。※ただし、落としたり、強くぶつけたりしないでください。
 - 2: 磁気：磁石には近づけないでください。
 - 3: 温度：この時計は常温（5℃～35℃）で調整されていますので、極端な温度条件での使用はさけてください。
 - 4: 防水性：防水表示のある時計は下記の内容でご使用ください。

	一時的にかかる水滴 (洗顔、雨等)	水仕事	水泳	ダイビング
非防水	×	×	×	×
3BAR 日常生活防水	○	×	×	×
5BAR 日常生活強化防水	○	○	×	×
10BAR 日常強化防水	○	○	△	×
20BAR スポーツ防水	○	○	△	×

△（リュウズやボタン操作のご注意）
 ※水の中、または水に濡れた状態でのリュウズやボタン操作は、時計内部に水が入り故障の原因となります。手、リュウズやボタン部分が濡れていない事を充分に確認してからリュウズやボタン操作を行ってください。
△（リュウズガード付きタイプのご注意）
 リュウズガード付きタイプは、ネジ式のリュウズガードの中にリュウズがあります。リュウズ操作を行う際はリュウズガードを回し、外して操作を行ってください。リュウズガードを戻す場合は必ずリュウズを押し込み、秒針が動いていることを確認してからリュウズガードをはめてください。

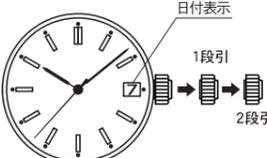
△（ネジ込み式リュウズのご注意）
 防水性を高めるためにネジ込み式になっているリュウズを使用しているモデルがあります。
 ◎外すとき・・・リュウズを反対時計回りに回します。
 ◎閉めるとき・・・リュウズを時計本体に押し付けながら、時計回りに回らなくなるまで回します。
 ※時刻合わせ等をした後は、必ず完全に閉めてください。閉めていない場合は防水性がありません。

三針タイプの操作方法



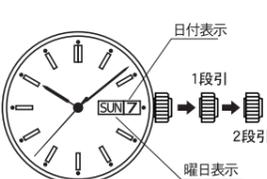
時刻の合わせ方
 秒針が12の位置に来たらリュウズを引き、リュウズを回して時間を合わせます。数分進めてから逆にもどし、正しい時刻に合わせます。時報サービス(TEL117)等に合わせてリュウズを押し込みます。

日付表示タイプの操作方法



日付・時刻の合わせ方
 日付を合わせる準備のため、リュウズを2段引いた状態で時刻を進め続けます。時・分針の針位置を6時から8時の間にしてください。この時は午前午後の区別は必要ありません。リュウズを元の位置に戻してください。秒針が12時の位置にきたらリュウズを2段引いた状態で秒針を止め今日の日付、現在時刻になるまで進めます。時報サービス(TEL117)等に合わせてリュウズを押し込みます。
※午前・午後を間違えないようにしてください。
 ※同じ機能であれば、デザインがイラストと異なっても操作は同じです。

日付・曜日表示タイプの操作方法



日付・曜日・時刻の合わせ方
 日付(曜日)を合わせる準備のため、リュウズを2段引いた状態で時刻を進め続けます。時・分針の針位置を6時から8時の間にしてください。この時は午前午後の区別は必要ありません。リュウズを元の位置に戻してください。リュウズを1段引いた状態で昨日の日付(曜日)に早送り合わせてください。（日付と反対に回すと曜日が合わせられます）リュウズを元の位置に戻してください。秒針が12時の位置にきたらリュウズを2段引いた状態で秒針を止め今日の日付(曜日)、現在時刻になるまで進めます。時報サービス(TEL117)等に合わせてリュウズを押し込みます。
※午前・午後を間違えないようにしてください。
 ※同じ機能であれば、デザインがイラストと異なっても操作は同じです。

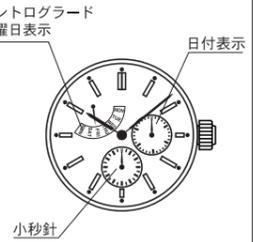
懐中時計の仕様について



※この懐中時計は樹脂製の風防レンズを使用しています。その為、若干のゆらみがあります。これは極端な温度変化や強い衝撃から風防レンズを守る設計によるものです。不具合ではありません。
 ※この懐中時計に防水機能はありません。水気には十分にご注意ください。
 ※時刻合わせは三針タイプの操作方法をご確認ください。

△（カレンダー付きタイプのご注意）
※注1 午後8時～午前6時までは、早送りカレンダー（日付・曜日）を合わせないでください。（この時間帯に合せようとしても、日付・曜日がかわらないことがあります。）
 ※日付は31日制になっていますので、2月、4月、6月、9月、11月の月末には修正が必要です。

レトログラードマルチ(多針)タイプの操作方法



レトログラード
 曜日表示
 日付表示
 小秒針

日付・曜日・時刻の合わせ方
 日付を合わせる準備のため、リュウズを2段引いた状態で時刻を進め続けます。時・分針の針位置を6時から8時の間にしてください。この時は午前午後の区別は必要ありません。リュウズを元の位置に戻してください。リュウズを1段引いた状態で昨日の日付に早送り合わせてください。リュウズを元の位置に戻してください。秒針が12時の位置にきたらリュウズを2段引いた状態で秒針を止め今日の日付、現在時刻になるまで進めます。時報サービス(TEL117)等に合わせてリュウズを押し込みます。
 ※ 曜日合わせは時刻合わせと連動しています。正しい曜日になるまでリュウズを回し続けてください。
※同じ機能であれば、デザインがイラストと異なっても操作は同じです。

機械式時計（自動巻き・手巻き）の操作について

※機械式時計の場合、構造上クォーツ時計に比べ精度の差があります。基本的に進みがちに調整されていますが、精度に関する調整修理は不可能な場合があります。（平均日差 ±40秒～±60秒）
 ※調整修理対象の目安は進んだり遅れたり安定しない状態が続いた場合はご依頼ください。
 ※日付、時刻の合わせ方は上記の日付・曜日・時刻の合わせ方をご覧になり合わせてからお使いください。（※注1「カレンダー付きタイプのご注意」も合わせて参照してください。）
 ※機械式の時計は繊細な部品(歯車、ゼンマイ)の精巧な組合せにより作動し、その精度を維持しています。日差±40～60秒程度ですが、使用される方の生活環境によっても精度に影響を及ぼします。通常使用下において精度にバラつきがある場合は、お買い上げ店もしくは当社時計サービスセンターへ修理をご依頼ください。（微調整はできない場合があります。）
 ※時刻調整はリュウズを引いて時計回りに時刻調整します。逆回転での時刻調整は避けてください。

太陽光発電(ソーラー)機能付き時計

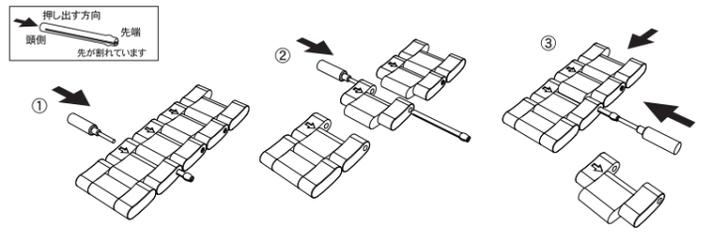
◎太陽光発電(ソーラー)時計は、ソーラーパネルで光を受けて発電した電力を、内蔵充電部品に充電する機能があります。
 ◎最大充電した時は約6ヶ月間作動します。内蔵充電部品は充電/電気量消費を繰り返す事や経年変化によって性能が劣化します。充分な充電量が得られなくなった時は部品交換等の修理が必要です。

- 《 最大充電約6ヶ月に要する充電時間の目安は下記の通りです。》
- ※ 蛍光灯・・・・・・・・・・・・・500ルクスの時 : 47 時間
 - ※ 自然光(曇天時)・・・・・・・・・・・・・1万ルクスの時 : 13 時間
 - ※ 自然光(夏期太陽光直接照射)・・・・・・10万ルクスの時 : 5 時間

※お買い上げいただいた時計は発電しにくい環境で保管されると充電容量は時計動作に電圧不十分となります。ご使用前に上記の充電時間の目安を参考にして必要十分な充電を行ってからお使いいただく事をお勧めします。
 ※ 秒針が2秒間隔で運針した場合は、充電不足の合図です。この状態の連続運転時間は約1日です。すぐに充電することをお勧めします。
 ※ この時計は“クイックスタート機能”があります。運針停止状態から1000ルクス以上の光をあてると数秒以内に動き始めます。（目安、蛍光灯30W / 70cm）左記の日付・曜日・時刻の合わせ方をご覧になり、合わせてからお使いください。
 （※注1「カレンダー付きタイプのご注意」も合わせて参照してください。）

メタルベルトのサイズ調整

- ① 先端の細い金具を使い割ピンを外へ押し出します。（矢印の方向へ押ししてください）
- ② 手順①を繰り返すと1つの環が取り外せます。
- ③ ベルトが適切な長さになるまで必要な数の環を取り外します。その後取り外した割ピンを再びはめてベルトを固定します。（手順①および③を行う際、割りピンは必ず頭部から押ししてください。先端側に必要以上の力をかけると壊れる恐れがあります。）



バックル部分の微調整

- ① 先端の細い金具を使いベルト側のバネ棒を押さえます。
- ② バネ棒が飛び出さないよう指でカバーしながら、ベルトを手前にスライドさせバックルから外します。
- ③ ベルトを適切な位置で固定してください。

※ピンが変形したりベルトのコマから出たままの状態での使用はおやめください。
 ※バネ棒が飛んで紛失したり、顔や目を傷つけないように十分にご注意ください。
 ※サイズ調整は、お買い上げ店舗にご依頼ください。

